

## 三浦半島地区 JRC 交流イベント

### クリスマス会 活動報告書

テーマ：笑顔 ∞ 絆(笑顔の絆は無限大)

活動日：2013年12月22日(日曜日) 10:00~12:00

場所：湘南学院カフェテリア

参加校：湘南学院・明光高校・海洋科学高校・岩戸養護学校・武山養護学校・三浦学苑

本校参加者：関間勝海 岩崎竜英 山川好栄 平山凜之介 山下美菜 秋葉大輔 篠田海

報告者：2年 平山凜之介 山下美菜

補筆 武田 校正 伊藤

#### ◆ 活動の目的と意義

- ①・JRCの活動を通じて他校と交流を深めつつJRCとしての共通意識を持つ
- ②・地区JRCの交流イベントを通じて年間の活動内容の把握に努める
- ③・JRCに参加する以上、前向きに参加し地区の活動を自分たちの活動として行く
- ④・イベントを内容から考え、行事運営力を身に付けるための一助とするため

#### ◆ クリスマス会プログラム内容

1. はじめの言葉
2. パイプライン
3. ズーム
4. 休憩(ポップコーンを食べる)
5. ヒューマンチェア
6. プレゼント交換
7. おわりの言葉



プレゼント交換 風景

## ◆ 感想と気付き

私たち三浦学苑生徒会が地区のJRC加盟校と共同企画を行い、イベントを運営するのは今回が初めてでした。当然、各校の代表者が役員となって企画会議を構成するのですが、それぞれの学校事情に違いがあるので集まる回数や時間に制限があり、この制約の中でプログラムが決められていきました。

このことは常に顔を合わせ、毎日のように話し合いをしている本校生徒会活動とは異なる活動でした。つまり、私たちにとって新しい活動を経験する事になったのです。

もちろん、それだけではなく武山養護学校や岩戸養護学校の生徒さんとの交流も、私たちにとって新鮮でした。10月に行なわれた横須賀市の「ふれあい運動会」で私たちはボランティアとして参加したのですが、仕事内容が受付や駐車場誘導だったため、養護学校の生徒さんやその他の障がいのある方と具体的な交流はできませんでした。

しかし、今回は同じゲームに参加し、ともにポップコーンを食べ合ったりして良い時間を共有できたと思います。今回のクリスマス会では、参加した全員が積極的に関わりを持って行動をしていました。こうした交流イベントを経験しながら、私たちの中にJRCらしさが育っていくものともいえます。

今回、企画役員の反省の中では「JRCらしさ」が足りません。JRCらしいプログラムがあって良いというものがありました。しかし、私は、一人ひとりが他者への思いやりを持って行動できたと思います。三月に企画されている、三送会（三年生を送る会）では「JRCらしさ」を十分に盛り込んだものにしていきたいと思います。

**記:二年 担当 山下 美菜**

こうしたイベントは他校のJRCメンバーと交流できる機会です。企画会議の過程で情報の共有ができたことが、私にとって良かったです。自分として残念だったのは、ズームというゲームで、その内容をうまく伝える事が出来なかった点です。ゲームの企画は、自分自身が良く内容を理解した上で、参加者に何を求めるかを把握したうえで行うべきでした。この経験を生かしたいと思います。

**記:担当 二年 平山 凜之介**



ゲーム パイプライン



ゲーム ズーム



ポップコーンパーティー



全員で輪になってヒューマンチェア